

## 編集後記

◇ 2016年は、地震、火山噴火、台風、洪水などの自然災害が全国で頻発し、甚大な被害をもたらした。特に北海道では、ジャガイモや豆類などの主力農作物の被害が大きく、今後課題を残したと言えよう。

これに関連して2016年10月17日付けの日本経済新聞では、「長期的な気候変動に備え、北海道農業、新顔手探り」と題し、北海道でもサツマイモの経済栽培が始まっていることを事例をまじえ報じている。

◇ 農林水産省の「消費者の部屋」では、2016年10月24～28日の5日間にわたり「さつまいも、じゃがいもの週」が（一財）いも類振興会も協賛して開催され、1255名の来場者を数え盛会であった。

来場者の多くは、実物の品種見本といも加工品の試食に関心が高い様子が見えた。しかし、サツマイモ・ジャガイモの解説パネルに目を止める人は少なく、専門的な質問をしてきたのはわずかな人たちであった。

◇ 本誌No.130の特集では、「いも類の新品種」をとりあげた。サツマイモでは「すずほっくり」、「スズコガネ」の2品種、ジャガイモでは「ながさき黄金」、「パールスターチ」、「ぼろしり」の3品種について、それぞれの育成者に解説いただいた。紹介した新品種が今後どこまで普及していくか注視していきたい。

◇ 健康な自然食品である干しいもの静かなブームが続く中で、2016年10月13日に『干しいも事典』を刊行し、いも類振興会で直接販売している。本誌No.130でも「干しいも事典の概要と編集余話」と題して、事典の内容などを紹介した。本事典は手ごろな販売価格としたので、是非購読をお願いしたい。

◇ 平成28年度のいも類講演会は、2017年3月10日（金）（13：40～17：00）に、東京都港区赤坂の三会堂ビル9階「石垣記念ホール」で開催される。詳細については、本誌No.130の「平成28年度いも類講演会の案内」をご覧ください。

（狩谷 昭男）

## 一般財団法人いも類振興会人事異動のお知らせ

退職 平成28年10月31日付 事務職員 宮城 恵子

採用 平成28年12月1日付 事務職員 松平 真弓

### いも類振興情報 第130号

2017（平成29）年1月15日発行

定価 1部 500円

年間購読料（季刊） 2,000円

### 発行 一般財団法人 いも類振興会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-10-41 ヴィップ赤坂303

TEL 03-3588-1040 FAX 03-3588-1225

E-mail: imoshin@fancy.ocn.ne.jp

郵便振替 00130-1-110152

印刷 株式会社丸井工文社